

議会だより

【発行】永平寺町議会

【編集】議会だより特別委員会

9月定例議会



地域交流事業芋ほり（志比幼稚園）

もくじ

9月定例議会報告	2	一般質問	6～19
予算案審議	3～4	地域振興研究会・視察研修報告	20～21
行財政改革特別委員会報告	4	1ch行政チャンネル週間番組表	21
常任委員会報告	5	決算特別委員会現地視察報告 編集後記	22

平成21年
第5回

9月定例議会報告

議長 坂本 伊三栄

平成21年第5回永平寺町議会定例会は、9月8日から17日までの10日間開催され、慎重に審議致しました。

審議された内容は、下表のとおりです。なお、議案第38号及び議案第39号の決算認定につきましては、決算特別委員会に付託され、12月定例会にて報告します。

また、上志比地区の簡易水道施設の老朽化により、新しく上志比中学校プール東側に建設する工事請負契約締結の件も可決されました。町民注視の議員定数を定める条例の一部改正する条例の制定が、議員発議として上程され、満場一致で可決されました。

第5回定例議会議案

平成20年度町財政健全化判断比率の報告
平成20年度町一般会計及び特別会計の決算認定
平成20年度町上水道事業会計の決算認定
決算特別委員会の設置
平成21年度町老人保健事業特別会計補正予算の専決処分の承認
平成21年度町一般会計補正予算
平成21年度町国民健康保険事業特別会計補正予算
平成21年度町後期高齢者医療特別会計補正予算
平成21年度町簡易水道事業特別会計補正予算
平成21年度町農業集落排水事業特別会計補正予算

報告
付託
付託
可決
承認
可決
可決
可決
可決
可決
可決

平成21年度町土地開発事業特別会計補正予算
町老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定
町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
町道の認定
志比小学校普通教棟耐震補強工事の請負変更契約締結
上志比地区簡易水道施設改良工事(その1)の請負契約締結
上志比地区簡易水道施設改良工事(その2)の請負契約締結
町人権擁護委員候補者の推薦について
町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定

可決
可決
可決
認定
可決
可決
可決
適任
可決

予算特別委員会報告

委員長 竹澤 一敏

当委員会に付託された一般会計及び特別会計補正予算6件は、15日に委員会を開催し、各委員が充分なる質疑を交わし、審議しました。

一般会計 総務費では、永平寺線跡地を整備するために必要な全体設計の事業費、**民生費**では、町内の全ての児童館と放課後児童クラブにパソコンを整備する費用、キッズデザイン事業では、事業内容の変更による予算の組み替え、幼稚園及び幼児園に通う小学校就学前3年間の子どもを対象とした平成21年度版の子育て応援手当で支給に伴う事業費など、**衛生費**では、妊婦子宮がん検診費の無料化に伴う妊婦乳児健康診査委託料、子宮がんや乳がんなど女性特有のがん検診推進のための事業費、住宅用太陽光発電等設備の普及促進のための導入補助金等の増額など、**土木費**では、地域活力基盤創造交付金を活用するため、予算の組み換えを行い、さらに町道の舗装工事費の増額、中部縦貫自動車道建設に伴う道路専用物の権利消滅のため、工作物移転等に係る補助金、公園の遊具を点検した結果、早急に遊具の修繕が必要なため、その遊具の修繕料など、**教育費**では、小・中学校の教育用テレビを地上デジタル対応のものに整備するに伴う、放送用の配線工事に係る費用、国のスクール・ニューディール政策の一環として、環境に優しいエネルギー確保のた

め、小学校3校に太陽光発電パネルを整備する事業費、松岡中学校ソフトボール部及び上志比中学校吹奏楽部がそれぞれ全国大会に出場することになったので交通費等の一部を支援する費用などです。

これらの財源となる収入は、まちづくり交付金、子育て応援特別手当(平成21年度版)交付金、地域活力基盤創造交付金、安心・安全な学校づくり交付金などの国庫支出金、地域子育て創生事業補助金などの県支出金、合併特例債、繰越金です。

特別会計 国民健康保険事業では、高額療養費の制度改正に伴う特別支給金等について、歳入は、繰越金等を充当、**後期高齢者医療**では、保険料について還付すべき保険料が確定したので還付金を歳入は、広域連合からの過年度保険料還付金を充当、**簡易水道事業、農業集落排水事業**では、県営の河内川改修に伴う山王3号橋の架け替え工事を行うことにより、簡易水道管、下水道管の架設工事及びそれぞれの本設工事設計委託料の受託事業費を、歳入は、それぞれ受託事業補償金を充当、**土地開発事業**では、栗住波分譲地の土地売払い収入を基金として積み立てなど、収入は、栗住波分譲地2筆分の土地売払い収入であり、これらの補正予算について、慎重なる審議を行い、いずれも可決いたしました。

★9月補正予算の主な内容★
(単位千円)

総務費	永平寺線跡地全体設計委託料	19,921	土木費	町道維持補修工事	△ 20,000
	コミュニティ会館整備支援事業補助金	379		町道鳴鹿栃原線舗装補修工事	25,000
民生費	放課後児童クラブ等パソコン整備事業	2,234		町道5号線舗装補修工事	19,000
	子育て応援特別手当(平成21年度版)事業費	20,772	工作物移転等補助金	1,496	
衛生費	妊婦乳児健康診査委託料	900	公園遊具修繕料	1,319	
	女性特有のがん検診推進事業費	1,265	教育費	各小学校施設改修設計委託料	1,945
	住宅用太陽光発電設備導入補助金	1,800		各小学校校舎等改修工事	50,268
	合併浄化槽設置補助金	375		各中学校施設改修設計委託料	302
		各中学校校舎等改修工事		4,800	
			中学校部活動補助金	2,305	
			各幼稚園修繕料	900	

予算案審議

問 国は緊急雇用対策として、大型補正予算を組んでいるが、本町での新たな雇用創出は、小学校体育館の建設に伴うバス運転手の確保だけなのか。

答 町役場での直接雇用というようにはなっていないませんが、間接的な雇用には十分つながっているとされます。

問 補正予算が提案されているが、今回国政では政権が代わることから、凍結される事業や予算はつかめていくのか。

答 新しい政権では、補正予算の組み替えもあると聞いていますが、ここに計上されている予算の中で、どの部分に影響があるのかは特につかめてはおりません。

問 地区会館整備への支援は良いことだが、今補正の内容はどういうものか。

答 老朽化に伴う屋根の補修や階段等の設置で、三分の一の補助となっています。

問 福祉保健でクーポン券を交付するという事業のやり方は、今回初めてだが、どこで発行するのか。また、低所得者への発行は考えないのか。

答 本町ではガン検診の無料化を集団検診では行っていました。女性特有のガン検診については、県内どの病院でも受診できるようにと、町がクーポン券を発行します。これにより、自分の好きな病院へ行けることになり、女性のガン検診率アップの効果を期待しています。他への発行は、今のところ考えていません。

問 本町のガン検診無料化は、タイミングよく制度化された。現在の町の集団検診やクーポン券の採用で、どの程度の受診率を目指しているのか。

答 昨年から実施の四十歳以上のガン無料検診率は、県内平均で四位と成って以前とはかなり向上しました。今後は、集団検診だけでなく、個別検診も任意の病院で受診できるように体制づくりを目指しています。

問 放課後児童クラブへのパソコンの配置はよいが、指導できる人が確保されるのか。また、画面の小さなノート型パソコンに決めたのはどうしてか。

答 学校で設置しているパソコン教室とは違い、指導員の横にパソコンを置き、だれもが自由に使える簡単なソフトも付いています。小型にしたのは、児童クラブのスペースの関係で、しまうことのできるものと考えました。

問 子育て支援関係で、子供たちへ夢を与える講演会とあるが、子供にとつてみると、一過性の催しより、地元のみんなで作りあげるといふ企画の方が良いのではないかと。

答 キッズデザインですが、当初は地元の人や学生を対象に発表の場を計画していました。実行委員会等で話し合った結果、せっかくなのでと著名人呼び、子供たちに夢と希望を与えてくれるような講演や歌を取り入れたものと修正し、予算の組み替えをお願いするものです。

問 子育て応援特別手当の交付要綱はどのようになっていくのか。就学前までの三年間の子ら全員にということなのか。子育てに金のかかるのはこの世代なのか。保育料は未満児の方が高いのが現実のはずだ。現場でおかしいと思うのなら、町から県や国に意見をどんどん上げてもらいたい。国の方針には一貫性がない。

答 平成二十年度の時は、多子世帯へととして実施されました。今年度は、三才から五才児で、園に通う時期の子らに対し更なる支援をすると表現されています。

問 住宅太陽光発電、これには町の補助というのはいらないのか。

答 補正予算に計上してある分は、町が単独で補助する分、国や県の補助は直接支払われます。補助額は、

一キロワット当たり、国が七万円、県は三万六千円、本町は五万円となっています。

問 合併浄化槽設置補助というが、下水道区域外であっても、町が下水道をつながない理由とは何か。環境のことを考えると、徹底して下水道につなぐべきではないのか。将来、その周辺が宅地になる可能性があるのなら、認可区域の変更こそすべきではないのか。

答 今回申請のありました地係の件は、処理計画区域外に新築するというもので、町の補助金交付要綱で対応することになっています。

今後、需要等がかなり大きく見込まれる場合においては、処理計画区域の変更をすることもあるかと思えます。

問 地方道路整備臨時交付として、当初予算に計上されている町道吉野七十号線、御陵四十二号線、光明寺一号線の他へ追加されているが、政権が代わって一番心配される補助金ではないのか。

答 示された道路は、継続事業として行っています。今回の町道舗装工事は、地域活力基盤創造交付金事業として二ヶ所を示しています。しかし、政権が代わり、事業がこのまま継続されるか危惧しているところがあります。

常任委員会報告

副議長 宮塚 幹雄

平成21年第5回定例議会は、各常任委員会（総務・教育民生・産業建設）にて検討する議案数が少なく本会議に先立つ全員協議会で、各常任委員会開催について検討を行なったところ、各常任委員会を一本にまとめ時間、経費の無駄を省くとの意見が多数を占め、副議長が合同常任委員会を行なうことで、今議会に限り合同常任委員会を開催しました。

◎教育民生部門

承認第8号

平成21年度永平寺町老人保険事特別会計不正予算の専決処分の承認について

問 老人保険事業特別会計では、繰越金とか会計の余剰はないと思うが。

答 精算余剰金は、繰越金と合わせ支払基金に返還します。結果的にプラスマイナス0になります。

問 過誤調整金の総額はどの程度か。

答 約320万円です。

問 老人保険は無くなった制度だが、いつまでこの会計が続くのか。

答 会計は過年度分精算です。H20、21、22と老人保険事業で3年間過誤調整の期間が残ります。

問 どんな考えでそんなに長く続けるのか、ある意味、国がしっかり指導したら良いのでは。

答 医療報酬の請求は5年間あり、再審請求は3年間出来る制度になっています。

議案第46号

永平寺町老人福祉センター条例を一部改正する条例の制定について

各施設の入浴料金の差をなくし均等な料金体制とする条例に改正（9月1日より実施）

日券200円（松岡福祉総合センター翠荘、CAMU湯）現在

日券300円（永平寺老人福祉センター）現在

全施設日券200円に統一…但し、65歳以下の健常者は250円とする。

議案第47号

永平寺町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

同条例第5条1項…出産一時金35万円を付則にてH21年10月から23年3月31日までの間暫定措置として4万円引き上げ、39万円とする（緊急少子化対策）

但し、同条例但し書きに拠ると病院等に出産については3万円加算合計42万円となります。

諮問第2号

永平寺町人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員法第6条3項の規定に基づき議会の承認を求める。奥野政裕氏（松岡西野中在住 62歳）

◎産業建設部門

議案48号

町道の認定について

道路法第8条第2項に基づき栗住波地籍番号1、路線名、町道栗住波4号線。起点終点とも栗住波。延長43.2m幅員4m。

H19年11月に旧永平寺町、旧上志比村に準都市計画区域が指定され、同指定区域内において建築確認が必要となり、現状では民家の建替及び増築が不可能となることから、これらを救済する目的で、当該路線を町道として提案しました。

問 普通は開発される時点で、行政に受益者が相応の土地提供が行なわれるはずだが。

答 基本的には松岡地区は都市計画地区で過去そのような事例もあったかも知れません。

準都市計画地区に指定されて基本的に道路幅員が4m必要となります。今後このような事例が随時発生すると思います。今後、都市計画マスタープランを整備するに当たり、詳しい説明会を重ねてまいります。

◎その他部門

問 地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定委員会とは。

答 さる8月4日第1回委員会を開催。委員数11名、委員長（県立大学菊沢教授）産業界・農協・北電社員・教育関係者・一般住民等で構成されています。

問 AEDについて設置されて時間が経過しているが問題点は。

答 H19年より設置されています。消耗品（電池、パッド）の交換は本年度中に行ないます。一応2年を目安に行ないたいと考えています。

管理所管は総務課ですが、器具の点検とか指導は消防で行なっています。

問 予算特別委員会で提案された鳴鹿山鹿地区のし尿処理場、合併槽の経緯はどうなっているのか。

区域内、外が道路を隔てただけの所もあるこの様な所の対処に疑問を感じるが。

答 現在町では、合併浄化槽と集落排水を含めた下水道管への繋ぎ込みで対処しています。それぞれの処理区において事業認可を取り対処しています。処理計画区域外では、合併浄化槽の補助制度を利用し設置をお願いしています。区域内は町が布設しますが、区域外は現状等を把握し申請者とも充分協議し対応していきます。

需要等ほか処理能力条件検討し、事業の変更認可等受益者条件を加味し変更認可を含め内容を精査し、地権者を含めた協議等、また受益者を含めた協議等を行ない諸問題を前向きに検討します。

9月定例議会

一般質問

そこが聞きたい!

第五回定例会において、十五名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。質疑と答弁は次のとおりです。一般質問は議事録にもとづき質問議員がまとめています。



小畑 伝

農業排水の雨水による被害対策は

小畑 近年ゲリラ的な集中豪雨が毎年全国各地で発生して、大きな被害を与えているとマスコミ等で報道されています。本町においても九頭竜川を擁していますので、大小の河川があり大雨が降るたびに気になる訳であります。

そこで、清流地区の開発時に心配されました雨水対策ですが、開発前の田圃はそれ自体が遊水池の役割をしていますが、宅地化が進むにつれゲリラ的雨水対策が心配になってきます。

清流地区西端にファミリーパークがあり、ふだんは子供たちがサッカーや少年野球、ソフトボールなどに使用しています。その横に深さのあ

る第一調整池がありますが、この六月の豪雨の時にこれが余り機能していなかったのではと思っています。あそこにタップリと水が溜まっている状態を見たことがあります。はたしてこれから来年に向けて豪雨が発生した時の対応として、この第一調整池が機能しているのかどうか、どれくらいの能力があるのか、それとゲリラ的集中豪雨に対する総合的な対策をお聞きします。

建設課長 清流地区開発の行われた松岡土地区画整備事業は、施工面積三十三・四畝で昭和五十七年に都市計画決定、同六十三年に事業認可を受け、平成九年に事業が完了しています。

雨水の排水計画は流出先の古川排水路の断面を大きく拡大して、流下能力を高める方法と調整池を設けて流量を調整する方法を併せて計画しています。調整池の容量決定は宅地・道路・水路・公園の用途に分類し、保水力の高い田圃は全て宅地化されると言う考えで計画しています。地区内の用途別面積と保水力を考慮した流域全体の流出係数及び三十年確率の降雨強度式により、改修後の古川排水路の流下能力と雨水に含まれる土砂の量を考慮した計画で、調整池の容量を一万八千m³に決定しています。調整池の機能ですが平成十年

八月の豪雨時には、ファミリーパークのグラウンドが一部浸水するまでの水位上昇が確認されていますので、十分に機能していると考えています。

使用されていない旧福祉会館等の危険度は？ 再利用の価値は？

小畑 天竜寺横の旧福祉会館の取壊しは、松岡小学校の体育館の取壊しがほぼ終わり次の段階になるにつれ、何か取り残された感じがしています。松岡地区の中心に位置し

松岡公園の入口にもなる場所、長らく放置されている現状を大変危惧しています。この建物、耐震が悪いと聞いています。しかし、ここ数年御像祭等で旧福祉会館の一階部分を見てきて思いますが、素人考えながら本当に耐震構造良くないのか疑問を感じています。

天竜寺は松平昌勝公の御像堂や松尾芭蕉の奥の細道の一つでもあり、本町にとっても文化価値の高い場所となっていますが景観上あまり良くないです。そこでこれらを勘案して提案です。福井

市の南部にハーモニホールがありますが少し不便もあって、福井駅前響のホールが既存の建物を利用して作られました。箱物行政を推進するわけではありません。もしこの建物の再利用が可能ならば二・三階を取り除いて、何かのホールの物が出来ないか、公園も含めこの地域を文化ゾーンにしてはと思いますが、これをお伺いします。

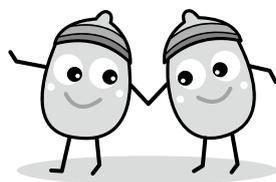
監理課長 旧福祉会館は平成十四年度まで建築基準法に基づき建築物



旧松岡福祉会館

定期調査結果において、犬走りの沈下、壁のクラック、天井の破損などの指摘を受けました。又、消防法に基づく消防用設備等点検結果でも屋内消火栓の設備や自動火災報知設備、非難器具、誘導灯などの消防用設備の不備を指摘され改善の指示を受けてきました。平成十五年度からは一般住民の使用中止を。平成十八年度からは電気・水の供給停止をし完全閉鎖の状態です。仮に再利用すると改修費・維持管理費が発生し多額の費用がかかることが予想されます。又重複施設があることから現時点では再利用するのは困難です。そのため、使用できない建物として、解体を考えています。

※紙面の都合上、「交通量の多い町道の舗装痛み対策は」「小・中学生遠の通学路の安全確保は」「町境の道路管理（町道）は」は割愛させていただきます。（小畑）



来年二月、任期満了による町長選再出馬について



南保 秀樹

南保 松本町長は、合併永平寺町の初代町長として新まちづくりに取り組まれて、三年半を経過しました。この間、町民の声を反映したいと、まちづくり委員会、男女共同参画会議とか、いろいろの委員会を設置されたが、現在も機能しているのか。また、炉端トークというものを数多く実施され、広く別の面からも町民の意見を聞かれ、町政に生かされていると思えますが、委員会の数と、それ等が機能しているのかお聞きします。

総務課長 町長が就任されてから住民参画システムを確立したいということでの、まちづくり委員会でありります。希望のまち永平寺創造委員会、また、女性のご意見をいただく、輝く女性永平寺会議、男女共同参画推進委員会といったさまざまな町民の方の委員会を設置いたしましたところ、ご意見を町政に反映しているところがございます。炉端トークといったし、また、平成十八年度から月に二回ぐらいの頻度で開催いたしました。これまで延べ百五十回程度、各種団

体、あるいは地域の方々と意見を交換しているところ。そういった中で、これまで町民指標とか町の花あるいは木といったようなものの策定、それから幼稚園あるいは放課後児童クラブなどに対する改善策などいろいろのご意見をいただき具体化してきたところで、町民の声を町政に反映するといった面では、非常に大きな成果を上げてきたものと思っております。

南保 いろいろお聞きしたら中で、機能補償道路については、着実に進んでいる。また、永平寺線跡地についても遊歩道整備として用地取得に入っている。さらに、永平寺温泉については、特例債で、消防庁舎については、消防広域化を見据えながら計画したいということ。他にもいろいろの継続事業が残っている。



永平寺町役場

町長がいつも口にして「活力とぬくもりのあるまちづくり」も、まだ道半ばかと思えますが、来年三月に任期満了を迎えるにあたって、町長の現在のお気持ちを聞かせていただきたい。

町長 町長就任以来四年目を迎え、町の発展と住民福祉の向上のため、常に町民の皆様の視線に立ち、町民の声に耳を傾け、合併して本当にかかったと実感できるまちづくりをしていきたいと一生懸命取り組んでいくところです。特に、道路網の整備は、中部縦貫自動車道の建設促進と機能補償道路の早期完成に向けて一生懸命取り組んできて、ようやく明るい視点が見えてきているところであります。

また、教育環境の整備、福祉の充実に努めているところであり、本当に住みよい温かい町にしたいと考えています。これからもそういうまちづくりを進めたいと思っております。

町の総合振興計画も平成二十年三月に作成しましたが、実施にはさまざまな課題があり、これからも継続して進めなければならない課題もいっぱい残っています。

再び、町民のご支持、ご支援が得られるならば、再度町政を担当し、責務を全うしたいと考えています。

行財政改革の 今後の取り組みについて



松倉 寛治

松倉 行財政改革には、積極的に取り組んでおり、合併後の三年間で約十三億八千万円の削減効果を上げ、平成二十年度の削減実績は約八億円と、その取り組みは町民の目に見える形で大変な成果を上げている。また、公債費負担適正化のために町長自ら先頭となって福井県振興資金の枠の確保に努め、十九年に一億円、二十年には一億三千万円と県の予算枠の半分以上を確保して借り換えや繰上償還を行い、当初計画よりも早期に実質公債費率を十八%以下の十七・五%として県下でもその取り組みは評価されている。

また、財政調整基金にまちづくり基金を創設し、後の財産運営につなげた取り組みを行っていますし、行財政改革については、組織機構の見直しや職員の定員適正化計画の作成等で、平成十八年から平成二十年の三年間の財政効果額は先に述べた十三億八千万円と聞いており、大きな成果を上げていると思う。

今後は、行財政改革をどう取り組むのか。

総務課長

行財政改革の進め方ですが、特に公共施設と行政組織の再編とともに、定員適正化計画に基づく職員の削減等も引き続き進めていきますし、財政の健全化の取り組みの中で、合併時に約二百三億百万円の公債費の残高がありました。二十一年度末には、百七十億七千万円になり、三十二億三千万円削減ができます。これも大きな財政改革の結果だと思えます。それから、平成十八年度に策定しました行政改革大綱あるいは実施計画が平成二十二年度末ということに推進期間がなっておりますが、その後の新たな策定に向けた準備も進めていきたい。

町長選挙の出馬について

松倉 松本町長は、合併後初の永平寺町長としてまちづくりに取り組んでこられた。これまでの三年半の町政を私なりに見ますと、子育て支援事業でゼロ歳児保育、延長保育、子供支援センターの設置や子供の医療費の無料化を小学校三年生まで引き上げるなど、制度の拡充、放課後児童クラブ、児童館の設置など次代を担う子供たちのための支援策を行ってきています。

また、永平寺町立図書館永平寺館を永平寺支所に移設し、四月の開館以来、利用者が増加し、七月には千

六百人を超えるなど身近な図書館として永平寺地区の町民から感謝の声を聞いております。道路網の整備では、中部縦貫自動車道の谷口地区において、地権者と交渉もまともり、機能補償道路も永平寺の地権者との交渉もまともるなど、その手腕は大変大きなものだと思えます。

また、教育向上のための取り組みや教育環境の整備で、松岡小学校の体育館の改築工事や、各学校の耐震補強工事などを行っており、そのほかにも、福祉の充実や高齢者福祉など、取り組んでこられた。

このようなことから、多くの町民も好感を得ていると思えますし、また期待されていると私は思います。

それで、来年二月下旬ごろに予定の町長選挙に立候補されるのか。

町長 これまで就任から三年半が経っておりますが、町民の皆さんの視点で声を聞いて、本当に合併したことがよかったと言われるまちづくりをしたいと思えます。特に子供たちの明るい元気な声が弾ける町ということ、子育て支援や教育環境整

備にも力を尽くしてまいりました。また、福祉の充実においては、特に高齢者福祉や障害者福祉の充実に努めてきたところであり、健康で本当に住みよい町づくりにしなければならぬと、今考えているところです。

今、様々な課題が山積みしており、これらの成果をさらに推進するため、町民の皆さんのご支援、ご支持が得られるならば、再度、町政を担当させていただき、責務を全うしたいと考えています。



町立図書館永平寺館

町長選の立候補の 意思について



竹澤 一敏

竹澤 町長の任期は、平成二十二年三月であります。次の町長選挙に立候補する意思があるのかないのかをお尋ねします。

それと申しますのも、松本町長が揚げたいくつかの政策課題がまだ途中半ばであり、合併当時の一般会計の起債残高は百十数億もありました。

合併三年後の現在では、起債の繰り上げ償還、県の振興資金の低金利への借り換えを進め、二十億円程度を超す借金を返済し、起債残高は九十億円台までに減らし、十九%を超えていた実質公債費比率も十七・五%まで改善し、町財政立て直しも町民の目に映るようになってきました。ことを踏まえ、また自民党から民主党に政策が転換される今日に至って、今後どのような方向で町財政を立て直し、永平寺町を発展させていくのか、町長選に向かつての決意をお聞かせ願いたい。

町長 これまで三年半にわたりました町政を担当してまいりました。そういう中で、今進めておりますさまざまな計画がまだ途中であります。道路の整備あるいは産業振興、人づ

くり、健康づくりなどまだまだ課題が山積されております。

政権も変わり、町に対するその形が色々これまでと違う形が出てくると思っております。そういう中にあるありまして、例えば新しい政権に對しまして、町のほうで九月一日戦略会議を設け情報の収集に努めており、例えば道路の整備に對する財源がこれまでどおりくるのかどうかということ、後期高齢者の制度の廃止という話も聞いております。

子育て手当てにしまして、も、それぞれの税のところ、で扶養控除なんかもあり、いろんな課題があると思っております。そういうものをこれからも十分に把握しながらまちづくりを進めていきます。

これまでの取り組みにつきましても、着実な成果を見たものと思っております。課題は山積しておりますが、町民の皆さんのご支援、ご支持が得られるならば再び町政を担当させていただいて、非常に厳しい時代であります。責務を全うしたいと考えています。



緑の村四季の森文化館

四季の森文化会館と 教育をつなげた活用について

竹澤 資料館には町内で発掘された遺跡が数多く陳列されております。

学校関係者との協議を進めていただき、小中学校の社会科の教育時間、又は社会教育、生涯教育等で、この遺跡は室町時代あるいは鎌倉時代の作品で、このような作業を行ってできたんだよという説明をしながら、

地下に設けられている映像ホールを利用し、ビデオによる学習を企画し、たらいかがかと存じます。

そうすることによって、四季の森文化会館全体が生き生きとした施設になるのではないかと考えます。

担当課長の考えをお尋ねいたします。

生涯学習課長 四季の森文化会館検討委員会におきまして、図書館の空きスペース、映像ホール及び、傘松閣の利活用につきまして協議を進めていきます。

教育につなげた活用方法ということで、小中学校の教職員との連携を深め、永平寺町の歴史を知るためや、社会科等の学習の場として、また体験学習の場として活用できるようにしていきます。

傘松閣につきましては、施設の多目的活用を図るために水回りとか照明とか整備し、さまざまなイベント開催など「だれもが利用しやすい」施設として整備する必要があると考えています。



来期の町長選挙について



酒井 要

酒井 三人の議員から、来期の町長選挙について質問が出しましたが、私の方は簡単にお返します。議会、町民に興味のある話題だと思います。松本町政、この一期いろいろ行ってきた町民に対する行政サービス面、大変満足度が高いような気がいたします。町長の口から再度、来期の二月町長選挙についての意向を是非共にお聞きしたい。

町長 この四年間、特に福祉の充実を町政の柱に掲げ、それに取り組んできました。特に高齢者福祉、障害者福祉につきまして新しい取り組みを行ってまいりました。障害者福祉につきまして、学校の通学支援事業などを行っておりますし、永平寺町の障害者の方々に対する地域での生活の思いをいろいろとめぐらせながら、これからも取り組んでいきたいと思っております。今お話しありましたように、町民のご支持、ご支援が得られるならば引き続き町政を担当させていただいて、責務を全うしたいと今考えているところであります。

酒井 障害者にとって障害者自立支

援センターの立ち上げで、NPOスマイルハートという非営利事業で行う団体ができて、障害者全体に非常に役立っています。

永平寺温泉(仮称)について

酒井 発掘してから三年がたっている。町民から温泉はどうなっているのかと質問を投げかけてきます。町長から三億円程度をかけて温浴施設をつくり、合併特例債を活用できると、これ以上の情報がない。議会にもっと情報がほしい。それと永平寺町全体を眺めたとき、平等な発展というんですか、松岡地区には小学校体育館の建設、永平寺地区は永平寺口開発、具体的な事例も出てまいりました。私の考えですけど、上志比地区は福祉のまちとして発展するための起爆剤として温泉が必要と思うが町長の思いを。

町長 平成十八年に合併いたしました、上志比地区におきましては温泉の施設の整備ということ、新しい町に委ねられたところで、議会においてさまざまなお意見をいただいております。合併特例債が施設整備に可能であることで、三億円程度ということを申し上げてきたところ、議会にもお話しをする機会をつくっていただくようお願いをしています。

上志比支所長

永平寺温泉について、町が合併特例債を活用し有利な資金を調達し、民間が施設の設計から完成後の維持管理運営までの業務を行う公設民営のPFI事業方式について検討してきたところです。施設の位置や事業用地の確保の問題、施設の概要と整備費の県への許可申請、維持管理費や運営収支、参加する民間事業者の確保、予定入浴者指数の予測、既存施設との関係と来客数の確保や温泉の利用についての検討、また、契約期間の決定など一つ一つ検討を重ねているところです。今後は議会に提示し、議会と十分に協議していただきたい。

酒井 議会と相談しながら進めていくと何か情報が出るのが大変慎重にやっているかもしれないが、十二月定例に出すのか。

上志比支所長 たくさんの課題がありますので、よく検討していきたいと思えます。

酒井 上志比地区がだんだん疲弊していくような感じがします。同僚議員がえち鉄線に、サンサンホール前駅をつくったら、サンサンホールで行事をやる上で非常に利便性を持ったことになるのではないかと提案をしたが私も同感です。

下志比駅のトイレの設置はいつか

酒井 昨年私も下志比駅のトイレ設置を要望したがどうなっているのか。児童の電車通学路としての必要性もあり、高齢者、弱者の方のえち鉄利用者にも必要と思うが。

町長 昨年の六月議会にお話しを受け、構内近くの土地の手当をしましたが、ご理解を得られなかったため、福井県とえち鉄とお話しをして、構内にトイレを作ることになります。事業費も積算しなければならぬと思っております。下水道につながる事も必要ですので、当初予算にはお出しできると思っております。

酒井 人間としての一つの大事な施設であるので早急をお願いしたい。



下志比駅



伊藤 博夫

永平寺川へサケ・サクラマス遡上するための
鳴鹿大堰の国土交通省が所管する
永平寺川魚道について

伊藤 永平寺川を地域住民や子供達に自然の大切さや環境問題を含めてゴミのないきれいな川にしようと「サケ・サクラマス遡上を実現する会」を発足いたしました。

今後は、永平寺川と共に生きていく状況、現実を小中学生達に生物の命の営み、そして産卵行動を観察し生命の尊さを体験をとおして、後世に伝えていくために、まちづくり夢プラン育成支援事業の決定をいただきました。

この永平寺川にはすでにサケ・サクラマスが遡上していることが確認されており、現在、所々に魚道があるが壊れており、今年度は一箇所改修することになりましたが、九頭竜川と永平寺川が合流する河口の永平寺川の魚道は水量の多い時期しかサケ・サクラマス等の遡上できない状態であり、このような実情を知っていただき、町が福井県と共に国土交通省の鳴鹿大堰管理事務所にて改修の要望をして頂きたい、町としての考えは、

建設課長 自然の大切さや環境問

題を含め活動される中で魚道整備要望を受け、町といたしましても小中学生の学習環境を高める観点から、大切なものであると認識しており、昨年、福井県に対し永平寺川魚道整備を要望してきましたが、本年、福井県施工により設計業務委託並びに本体工事に着手することになっております。

今後もサケ・サクラマス等が上流へ遡上できるように、魚道整備事業に目的達成と河川汚水環境整備の充実のため、福井県並びに国土交通省に対し要望を継続してまいりたいと考えております。

伊藤 子供たちにとっても安全で安心して遊び学べる川であり、また平



永平寺川

成五年当時の議員さんは、鳴鹿大堰は福井平野や坂井平野には恩恵があるが、永平寺町には全く恩恵がないと言われておりました。このことを踏まえ永平寺町にも恩恵があるようにして頂きたい。

永平寺地区に発車オーライしたコミュニティバス「あいあい号」について

伊藤 現在、永平寺地域の中地区、北地区に京福バスのコミュニティバスが町民の足として運行しています。このバスはいつごろからマイクローバスに変更されたのか、お伺いします。

総務課長 永平寺地区の中で運行しているバスは、町のコミュニティバス事業を統一するために再編を行いました。平成二十年四月から現在のバスになっております。

伊藤 旧永平寺時代の平成十四年十月一日に低床型車両「あいあい号」として、ふれあい会館前において当時の町長、議長、京福関係者とのテープカットによりコミュニティバスとして動いたところですが、その当時のバスのデザインは、九頭竜川にはねるアユと灯籠流しをイメージした斬新なデザインでしたが、なぜこのような斬新なデザインをやめたのか、お伺いをいたします。

総務課長 平成二十年四月に再編したことにより、永平寺地区、上志比地区のバスが時間帯に応じて交代をします、そして利用者数、利用者層がかわるごとに車両の変更もいたします。

また上志比地区の集落内の道路がせまいために、今までのバスでは運行が出来なくなつたためです。

伊藤 平成十四年度に買ったときの購入価格は、

総務課長 当時の「あいあい号」の購入経費は、停留所の整備やデザイン費を含めて一、八七九万円でありました。

伊藤 国、町の補助率と事業者の支出金の内訳は、

総務課長 国庫、四分の一の四一〇万円、町も四分の一の四一九万円、事業者の京福バスが四分の二の八四九万三千円の負担となっております。

伊藤 現在、普通の京福バスと同じようなバスを使用しているが、なぜ元の斬新なデザインである「あいあい号」を走らせないのか、お聞きしたい。

総務課長 再編に伴い現在のバスになっておりますが、デザイン等々、町民の皆様が親しまれるようなバスで運行するよう、今後努めたいと考えております。

新型インフルエンザへの 対応について



長谷川 茂雄

長谷川 過去に大流行し、国内でも三十八万人の人が亡くなったことのある集団風邪。二波、三波への、当町の行動計画は、また予防対策事業の進ちよく状況は。

この先、流行が拡大し庁舎、幼稚園など出先の最前線で感染者が続出したときの対応は。

総務課長 国、県の行動計画と協調し、対策を進めています。基礎疾患のある方や、就学前の幼児、また感染するとリスクの高い方もおられますので国、県、関係機関と十分に連携を取りながら対策をしてまいります。予防対策の備蓄、備品は、マスク、防護着、消毒用のキット、そして小中学校、幼稚園に体温計、これらは納品済みです。

また、町職員の四割が感染し六割の職員での業務を続けていく想定での対応をマニュアル化しているところ。

消防長 防災エアータントを感染拡大時には一時待機場所、応急救護所として各支所に配備し対応していきたいと考えています。

長谷川 学校から家庭、地域への感

染情報把握は。

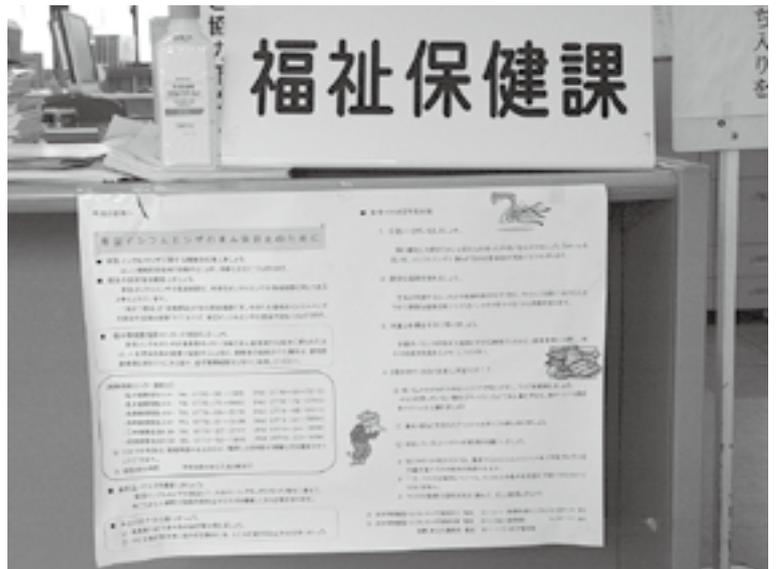
学校教育課長 小中学生には帰宅した時、食事の前、トイレの後、念入りな手洗いや、うがいを指導しています。また、保護者の皆さんには生徒の健康チェックカードの管理をお願いし携行させています。また学校では高熱、微熱、のどの痛み、せき、頭痛の症状の場合には早退の措置を取り入念な手洗い、うがい、教室の換気の励行などを指導しています。

長谷川 感染すると重症化する人への注意喚起はどのように行うのか。

また、現在行っている、予防接種の助成対象の拡大ができないか。また、的確な対応、指導ができる窓口の設置を。

福祉保健課長 個別に病状を把握できないので告知は難しい。町の広報誌で、基礎疾患の方への注意喚起をしたい。予防接種は、国、県、近隣市町の動向を注視し、検討させていただきたいと思えます。

対応、指導に関しては、各保健センターで保健師が一般的な予防法、対応を含めて説明しています。



インフルエンザ予防

自殺対策について

長谷川 自殺対策の担当課は。また、相談体制・予防の啓発は。

福祉保健課長 自殺対策は、福祉保健課が担当します。相談体制は福祉保健課・各保健センターでの窓口対応を行い、専門的な部分は、県の相談機関を紹介します。

啓発に関しては講演会、研修会、イベント等の参加を促します。また、特定健診チェック表による心のケア事業の実施も検討しています。

自殺予防週間にあわせて、町の広報誌による啓発用のチラシを計画しています。

消費者庁発足に伴う 当町の体制は

長谷川 消費者庁発足に伴う当町の体制は。

総務課長 消費相談窓口は総務課生活安全室内で対応していきたい。

今年度、全国消費生活情報ネットワークが配備されますので、移動窓口も随時設置して相談に応じたい。

担当者の育成は、機会があれば、研修に参加させ知識習得のため受講させたいと思えます。





原田 武紀

「介護基盤緊急整備臨時特例交付金」を活用した介護拠点等整備の町方針は

原田 「経済危機対策」と銘打った国の追加補正予算の自治体関連分は、先の六月定例議会で、総額約三億四百万円が議決承認され、今議会にも「第二弾の子育て応援特別手当」等が予算計上されている。

政権が変わったことで、この「経済危機対策」補正予算の一部凍結もあると聞くが、この中の「介護基盤の緊急整備特別対策事業」等は、すでに厚労省老健局から県等に事業推進の指示があり、その中身は、「介護ニーズに対応するため、地域密着型サービスの整備に係る市町村交付金の拡充」等で約二千五百億円を「介護基盤緊急整備等臨時特例基金（仮称）」に予算計上、都道府県に平成二十一年度から三年分の基金を増設し、各地域における将来必要となる介護施設、地域介護拠点の緊急整備を行う内容です。

「介護基盤緊急整備等臨時特例交付金」の対象で、実施主体が市町村である小規模特別養護老人ホーム（定員二十九名以下）等については、町内事業者から町へ設置の要望書も出

ていると聞いた。仮に、定員二十九名の小規模特養ホーム設置の場合、国の補助は従来の約四千万円から一億円程度に増額されるので、事業者にとっては千載一遇のチャンスであり、町にとっても町内在住者の優先入所や雇用拡大等のメリットがあると思うが、町の方針は。

福祉保健課長 小規模特別養護老人ホームは、今後の高齢化社会を考えると町も必要であることは認識しています。ただ、事業者は社会福祉法人格を有することがまず前提条件となります。また、介護施設が増えれば介護給付費が増え、介護保険料の上昇にもつながりますので、設置は介護保険運営協議会などの協議を



特別養護老人ホーム

経ながら慎重に対応したいと考えています。

小規模特別養護老人ホームは、地域密着型施設で、入所対象者は町内在住者となり、町外者の入所は原則できない施設となります。施設ができれば施設で働く人は当然必要で、資格等の問題もありますが、地元の雇用拡大には十分寄与するものと思います。

町長 小規模特別養護老人ホームの事業者は、社会福祉法人格が前提条件になりますから、条件整備の進捗も見極めながら、今後慎重に検討していきます。

町の収入に対する借金返済の割合を示す「実質公債費比率」、今回大幅に改善されたが、その指標の今後の予想は

原田 平成二十年度決算時の「実質公債費比率」（日十八〜二十の三ヶ年平均値）は十七・五％で「財政健全ゾーン」である十八％未満を、一年前倒して達成した。

町の借金の平成二十年度末残高が、一般会計、特別会計、合わせて百六十六億四千七百万円で、前年度と比較すると九億九千四百万円の減となっている。補償金（利子）免除による公的資金（借金）の繰上償還、県の市町振興資金貸付制度による低利

への借換え等を積極的に活用したことが、大きな効果を生み出した訳で、町当局の改善努力に敬意を表します。今後は本場に必要なる事業を取捨選択して、これ以上借金が増えない（実質公債費比率十八％未満）範囲での財政運営を図っていただきたい。合併特典の、返済が三割程度でよい合併特例債の活用による新規事業計画も踏まえた同比率は、今後どう推移すると考えているのか。

企画財政課長 平成十八年〜二十年度の三ヶ年で総額十六億円の繰り上げ返済を実施し、町全体の借金総額は、合併前と比較して本年度末で三十二億円の削減を図りたいと思っています。また、県の市町振興資金三億三千万円による低利な借金への借り換えも含めた利子の抑制効果額は約二億四千万円と推計しています。

それ等の取り組みの結果、町の公債費適正化計画年次よりも一年早期に目標を達成できました。なお、今後の「実質公債費比率」の予測ですが、新政権の方針が示されていない段階での試算になりますが、標準財政規模や新規事業での合併特例債の借り入れ、一部事務組合への負担等を考慮しても、平成二十四年までは十七・五％から十六・五％の間で推移し、十八％未満を維持できると考えています。

大雨による水害、災害

その対策について



小玉 益雄

小玉 水害、災害、土砂災害が世界中で頻繁に起きております。近いところでは今年の八月に起きた台風八号による死者六百人を超す台湾の大被害、日本では九州北部、中国、四国地方など死者二十数名を超える豪雨被害が出ております。本町においても今年に入って松岡地区で、二度、水害による被害があったと聞いております。合併して三年経過その間の水害および土砂災害の状況と届け出件数について伺います。

消防長 平成十八年水害出動件数二十七件発生。土砂災害出動三件。十九年度水害、土砂災害出動発生しておりません。二十年度水害出動二件発生、土砂災害出動ありません。二十一年度現在まで水害出動四件で土砂災害ありません。

建設課長 今年の雨の被害は松岡地区で神明一丁目、二丁目一ヶ所ずつ、春日で二ヶ所床下が浸りました。道具を持ち手伝いを行ったりしております。

小玉 平成十一年ころ大雨が降り永平寺川が氾濫、松岡地区では清水区、石舟、上吉野、薬師、志比堺等で土

砂災害が発生し大変でした。松岡地区では砂防ダムを造り、永平寺川では十四年度の完成で永平寺ダムが造られております。以後水害の大きな被害はなくなっており、良い結果となっており。今までも雨水対策について質問しております。大雨になった時、問題がなければ良いのですが、今後排水溝などの見直し計画があれば説明願います。

下水道課長 議員からの雨水の排出溝の分散につきましては、現在北陸農政局が芝原用水のパイプライン工事を進めており、幹線ルートの出確保について農政局と協議を行っております。また、現在策定を進めている下水道基本構想の見直しにおいても、雨水の計画を検討している状況です。雨水幹線の現状を十分に把握するとともに、事業財源等を考慮して検討してまいります。

なお、議員ご指摘の松岡地区の神明地係、春日地係における豪雨時の雨水支線の浸水箇所につきましては、恒常的な浸水が起きているのが現状だと把握しております。住民生活の安全を確保する上で浸水の対策が必要と承知しております。よって、浸水箇所の下流への排水への影響を十分考慮した上で、浸水箇所周辺の排水溝の改修を行っていきいたいと考えております。

農業、産業の振興について、職員の役割について

小玉 松本町長の就任当時から負債額二百三億円ありましたが、現在百七十億円との説明がありました。大変な努力の結果と思っております。しかし、全国市町村では住民の目線に立って行政を進めることが第一ということから、職員が進んで地域に出る、まず地域の声を聞いて業務に当たるよう意識改革を進めております。本町において昨年から職員を商工会に派遣しておりますが、一年半経過しているがどのような報告を受けているのか。

商工観光課長 職員からは、永平寺町内の商工業者の状況、特に昨年後半から経済不況に陥りまして、事業者の実態状況等の報告を受けております。随時、本町の商工業全般についての報告があります。また、これまで以上に活性化するために職員を派遣するなどして、強化しているところであります。

小玉 農業再生が叫ばれております。本町の農業向上のために吉田郡農協へ職員を送っておられる。その目的について。

農林課長 JA吉田郡に設置している吉田郡水田農業推進協



吉田郡水田農業推進協議会

議会に職員を送っている。本来、推進協議会の業務を行政が主体的に運営を行うと理解してください。本町の職員とJAの職員がお互いに協議会に事務を従事させて、農家の皆さんへの一元化を図ることが目的であります。

町長 専門の職員を置いて、それぞれの活性化のために役に立つような形で職員をそろえたらどうかというお話してあります。例えば、農業の専門、商工業の専門の職員を採用するというのが理想だと思います。例えば新規採用の時、大学なり学校なりそういうことを含めて十分考えていかねばと思います。

民主党の衆議院議員との関係をどう構築していくのか



松川 正樹

松川 鳩山政権がどのくらいの間続いたのか予測は難しいが、民主党の政権は少なくとも四年間は続くだろうと言われています。四年は長いです。

町長は、これまで自民党の稲田代議士と関係が深かった。また、県下の首長は知事を含めて自民党の候補者をこぞって応援の運動をしたけれども、町長が目立った形で動かなかつた。民主党政権の実現が現実視する中で御判断でしょう。

しかし、当選の当日、稲田朋美候補の事務所陣取り、乾杯のご発声もされたようです。ずっと自重されたのにどうしたのかなという印象でしたが、今後、稲田代議士一辺倒という訳にもいかないでしょう。ほとんどの首長さんは、あくる日の三十一日に民主党の国会議員に挨拶に行かれましたが、今後、民主党の国会議員との関係をどう築いていくつもりですか。

町長 永平寺町にも今さまざまな課題があります。特に国の方の要請には中部縦貫自動車道の建設促進あるいは治水砂防、観光の振興らがあり

ます。これまでも県選出国會議員はすべて要望に行っておりまして。これまでと同じ形で町の要望を要請していきたいと思っております。

全国学力テストの分析結果 正答率が親の年収に

比例している

松川 今回も福井県の子ども達は全国でトップクラスでした。三年連続なので全国的にも高く評価されるでしょう。ただ、正答率が親の年収に比例しているという分析結果も出ました。子ども達に現場で説明するすれば、とてもデリケートな問題です。

いづれにしても、公教育における低所得者の支援を課題としなければなりません。こんな不公平なことはありません。実際、日本はGDPに占める公的教育費の比率はデータが存在する二十八カ国のうちでもほとんど最下位です。逆に言うとなんか負担が高い。韓国に次いで二番目でした。こういう状況をどう思われますか。

教育長

この分析はお茶の水女子大が行ったのですが、年収と成績結果の比例関係は、都会やその周辺地域で特に言えることで、福井県の場合は、ほとんど全て同じ学校で学び、家庭や地域が安定していて、協力関

係があり、収入と成績とのそういう相関関係は弱いと思っております。

松川

私も、このデータがそのまま福井県や永平寺町に当てはまるとは思っていませんが、いくらかは傾向はあるだろうということです。データはないだろうけど、現場の先生たちは体で実情を感じているはずで、経済的理由で成績がふるわない子供がいたとしたら、何としても救済すべきです。

これまで耐震のハード面で相当予算を当ててきましたが、教育の中身を上げていくという工夫のソフト面では、体育館建設に比すれば安いものです。あらゆるメニューを教育現場の中で実現できるように支援願いたい。

成人式はあくまでも自主的に！

松川

自分の成人式は、実は参加できなかつたのですが、昔の成人式は色々不都合なことがありました。そういうこともあって青年団活動の一環として、その後、ずっと成人式にかかわってきました。いわゆる自主成人式という本物の成人式のお手伝いを何年間かしました。このことは私の誇りでもあります。その後、思うところあってリタイアしましたが、最近、久しぶりに今回、成人式を迎える若者と出会って、いろいろ

とお話する中で感じるものがありました。合併して三年、旧三町村の若者が一堂に会しての成人式、それはそれで意義のある事でしょうが、どうも成人者たちの本音は、同じ中学校を卒業した同窓生で別々に成人式をやりたいそうです。私もその方が実行委員会としては取り組みやすい、気持ちのりやすいと思う、可能であれば三つの成人式があつてもいいのではないかと思うが。

生涯学習課長

合併後、式典は一本化しています。三地区の新成人の中から実行委員を選出し、いろいろな企画や実施をしています。懇親会はそれぞれの地区に分かれてしています。式典は分けてということですが、今のところ成人式に参加された方からは、そのような意見はこちらの方には届いてはいません。しかし、今後、成人者からそのような意見が出てくれば考え直したいと思えます。



成人式



生活困窮国保世帯への対応… とした「厚労省通知」と 本町の現状は？

金元直栄

金元 病院窓口での一部負担すら負担できない人々が増えていることから、今年七月、厚生労働省は各自治体に、病院の未集金問題からの対策として、病院の窓口負担も含め、国保税などの軽減策を法に示されているように、積極的に活用しなさいという「通知」を出しました。

しかし、県内のマスコミ報道では、県内の自治体では、無料低額診療事業や、国民健康保険の一部負担減免制度はほとんどを取り組まれていない現状が示されていました。

金が必要ならば病院にもかかれないというのでは、これから大流行する新型インフルエンザに関する外国の例を見ても、死亡者の増大は貧困層が病院にかかれなかったことが大きな原因の一つ…の例に示されるように、大変な事態をも引き起こします。

国民健康保険法第四十四条では、保険税減免が、社会福祉法では病院での無料低額診療事業のあることも示されているが、本町の現状と今後の対応、取り組みの方向を示してもらいたい。

住民生活課長

本町では、生活困窮者が原因と思われる、医療機関への支払い相談は現在、一件もございません。また、医療機関から未収金に關しての問い合わせもないことから、本町の被保険者は、平穏な状況というふううに受け止めています。

今後の対応は、生活困窮者と低所得者とのすみ分けが難しいこと、減免を実施した場合に国保の財源がないうこと。さらに保険税の減免も実施していないことから、さまざまな問題が発生するということから、現時点では一部負担減免は非常に難しいものと思っています。

しかしながら、このような社会情勢の中で、どうしても保険税が払えない、一部負担が払えないといった方々には、税務課や福祉保健課と十分な連携を図りながら、生活保護も視野に入れながら対応を考えたいと思っています。

行政による雇用創出が 具体的に見られないのは どうしてか！

金元 国はこの間、大型の補正予算で、地域活性化や経済界危機対策臨時交付金、雇用創出を打ち出してきました。本町もこれらの交付金を受け、学校の耐震化工事や子育て支援等を行ってきた。しかし、厳しい雇用状

況が本町にもあると思うのだが、行政による目に見える形での雇用創出は見られてはいない。

他自治体では、行政の直接雇用…と報道もあるが、失業や生活苦の対象世代への具体的な事業が、本町で見られないのはどうしてか。

商工観光課長

本町では、緊急雇用創出事業により子育て支援コーデイナーター事業、体育館移動バス運転事業、家屋所在台帳等の整備事業を実施し、さらに新規事業により、合わせて今年度は十八名の雇用創出となっております。さらに関係機関と協議しながら、配慮していきたいと考えています。

町有地の管理は きちんとしてほしい！

金元 町有地は目的があるのなら目的を示し、柵で囲って管理すべきで、普通財産なども目的を表示することによって、希望者が出てきたりする場合もある。管理の仕方によっては、売り出すこともできなくなる。さらにきちんとして管理しないと防災上も問題となり得ることから、町有地は町有地らしく管理してもらいたい。

監理課長

町有地は、必要に応じて点検し、草刈りや清掃等を行っています。今後も定期的な点検も行いつつ、土地の状況に合わせながら、町

有地の表示も含め適正な管理を努めます。

湯谷、宮重区の 簡易水道について

金元 この簡易水道については、時々心ない議員により、いかにも問題ありげに議会で取り上げることがあることから、行政との関係について質問します。特に六月の議会では、合併後の公共料金の統一に名を借り、まともに調査もせずにも問題あるかのように質問と称し、行政へは答弁はいらんなどと議会で質問する議員がいたのには驚いているところで、両区では維持管理のため独自の料金徴収していますが、この簡易水道というのは、合併による公共料金統一の対象になり得るんですか。

上水道課長 この簡易水道は水道施設の維持管理を区で行っており、町の上水道水を飲料水としていないため、公共料金として町が水道料金の徴収は行っていないことから、公共料金統一の対象とはなりません。しかし、これらの区も上水道の区域には入っています。



窓口の接客について



河合 永 充

河合 窓口を初め、役場全体にも言えますが、笑顔で活気のある職場づくりにも励んでいただきたい。町の人にも伝わり、好印象で、業務の効率向上に一役買おうと思う。接客についてどう考え、どのような工夫、取り組みをされてきたか？

住民生活課長 町民の皆様に対し窓口の重要性を強く感じ、的確な説明と親しまれる対応に全員で心がけたいと考えています。取り組みの一つとして、一つの届出がですと、他の関係課に及ぶ場合、作成したチェックリストを一つ一つ確認しながら、及ぶ課へ御案内をし、町民の方に二度三度ならないように心がけています。

各種団体との関係について

河合 現在多くの団体が行政と連携をとるなどしながら、町の活性化のため、活動されています。町民主導の町づくりのため、こういった団体への期待が益々高まってくると思われる。今後も町を盛り上げるため、新たな団体への育成にも力を入れていって欲しいと思う。役場が事務局

を持つている団体はどれくらいあるのか？

副町長 現在、事務局をお預かりしている団体の数は三十九団体です。

河合 行政と密接に連携をとっている団体は別ですが各団体で事務局を持つていただいたらどうか。今後、町の職員が減少していき、小さい役場となっていく。また、事務局が役場にあることにより、行政に頼りがちになり、団体の独自性、自主性が損なわれる場合もある。町民主導の町づくりのため、職員を削減した一部を事務局分とし補助金の上乗せをしたらどうか？もちろん、こういった事務局を指導、アドバイスできる



第3回上志比地区体育祭

窓口は必要ですし、団体と行政の意見の交換の場も設け、連携を取っていくべきと考える。

副町長 この各団体、それぞれの設立の目的とか、行政とのかかわりの濃淡・強弱、各団体でバラバラです。行政そのものがやるべき事務をお願いをしている団体もあります。これからは団体の性格、行政とのかかわりの度合い、団体に事務を移行していくことに伴い、その団体活動そのものがどうなっていくのか。活動が縮小化するのでは意味がありません。もろもろの要素がありますので、十分勘案しながら、それぞれ自分の団体は自分達で自主運営していただくというのが大変望ましいと思えますので、そういう方向で今後検討していきたいと思っています。

町民税の減が予測されると思うがどのようか考えているか

河合 非常に厳しい経済状況の中、町民税は今年度より影響が出始め、特に法人町民税に関しては当初予算より減少するかもしれないが見込みはどうか？また、前年課税主義の個人町民税に関してどのような状況なのか？

税務課長 個人町民税は、平成二十年度と平成二十一年度を比較しま

すと、八月末現在において、調停額は、二一〇万円、率にしますと二%の減です。次に法人町民税ですが、これも八月末現在の申告状況で比較しますと、均等割りでは大口法人の事業所設置等により昨年度比八%の増となったものの、法人割では三十二%の減となっております。法人町民税全体では十八%の減となっております。今後来年の三月までに申告する法人のうち、業績次第で収納見込みは大きく左右され、現時点において予測しにくいのが現状です。

個人住民税について、当初予算では、八億七八八万八千円の収入を見込んでいましたが、これに若干ではあります。今後、増額補正を予定していき、最終的には昨年度比で五%ほどの減収を見込んでいます。次に法人町民税ですが、申告が全く読めない状況です。このような経済状況のもとでは、予算額を確保することは大変厳しい状況になっていると思っております。

河合 町民税が減少することについては、町内の活気が無くなり厳しい状況を示す一つのバロメータとなっている。真の町の声が行政に届き、情報収集ができる仕組み、そしてすぐにそのニーズに的確な判断で答えられる対策が打てるような体制をお願いします。

松岡公園整備事業は 必要最小限の整備を



滝波 登喜男

滝波

松岡公園整備事業は十年間で三億円と大きな事業であることから、三地区のバランスや財政面で心配している。平成二十年度当初予算にいきなり基本計画策定費用が計上されたが、新町の総合振興計画を見る限り、松岡公園についての記載はあまりない。そこで、この事業は①中長期計画の中で優先順位に従っている。②緊急性がある。③優先順位は低い。④国の有利な補助事業にのせる。どのれに当てはまるのか。

建設課長 基本的には③の国の有利な補助事業にのせることが出来るから、計画策定しました。

滝波 基本計画の中では、福寿園跡地の駐車場化や、花見芝生公園、桜の植栽、階段状テラス、果樹園、松平公墓所移設などを十年間で整備することになっているが、この中の優先順位は。

建設課長 一期工事は五年で一億六千万円、二期工事は五年で一億四千万円です。一期工事の内容は、駐車場整備、道路の整備、階段状テラス、木を伐採し眺望の確保などです。



松岡公園

滝波 今年度は費用対効果分析を行っているが、その分析結果は。また、分析した業者は基本計画を策定した業者であるが、自分の計画したもの自分で分析しても正確な分析はできないと思うが。

建設課長 効果とは、公園を利用することによって生じる利用価値と、存在するだけで生じる存在価値の二種類があります。分析の結果、非常に有益だということです。また、同じ業者にしたのは、計画内容を十分に把握しているからです。

滝波 駐車場や清水区に通じる道路整備など、優先的に行うものとおそうでないものと区別し、最小限の整備

でいいのでは。

町長 松岡公園は昭和二十六年にでき、今では公園としての機能が少なくなっており、その復活ということがこの事業を考えました。実施時期について県と協議していますが、いろいろな事業が出てきているので、一年待ち、周りの状況を十分見て進めたいと考えています。

墓地整備のニーズ調査を

滝波 松岡地区では、清流地区などに新しい住民が来られている。この方たちは、「最後はこの近くでお墓を」と思われているのではないでしょう。福井市坂下で売り出された墓地に、松岡からも申し込みがあったと聞いているが、行政も民間企業に働きかけ、墓地整備を進める必要があるのでは。

環境課長 墓地の設置を希望されている方がどれだけおられるかというところについては、現在のところ把握していませんが、要望が多ければ墓地整備を考える必要があると思います。また、墓地整備は墓地埋葬に関する法律により規制等が多くあり、周辺住民の同意など難しい課題もあることから、慎重に進める必要があります。

町長 清流地区やけやき台などの分譲した地域に住まわれている方が、

墓地についてのどのように考えておられるか把握することが大事で、今後十分調査をします。また、民間で行っていただくのが一番いいと思いますので、民間のお話もいろいろ聞いていきます。

新型インフルエンザの対策は

滝波 新型インフルエンザは、十月中旬にピークがくると言われている。町が今後行わなければならないことは、ピーク時の感染者をいかに少なくしていくかであり、子供や高齢者、病気の方への予防である。これらについて、どのような対策を考えているのか。

福祉保健課長 手洗いやうがいの徹底を、各地域の健康教室で必ず指導していきます。広報誌やチラシ、ケーブルテレビで予防の啓発を行っています。

学校教育課長 小中学校では、九月一日から保護者の方にお願ひし、毎朝、検温と健康チェックをし、記録カードに記入していただいています。発熱や吐き気、下痢の症状がある場合は、登校を自粛していただいています。一人目の感染者が出て、一週間以内に二人目がかかったら学級閉鎖となり、その学級が幾つも重なれば学校閉鎖となります。



上田 誠

決算認定における事務報告の内容の充実を図るべきではないか!!

上田 今議会に提出された二十年度決算認定は、地方自治法に基づき、歳入歳出決算書、決算成果表、事務報告が提出されている。これは各事業の予算執行内容、目的、成果及び課題と方向性が示されるべきと考えるが。

総務課長 地方自治法の定めにより提出しています。予算説明書と決算の成果表とは若干異なっている部分もあります。

上田 今までの事務報告を察すると十九年、二十年とほとんど変わらず、項目も変わってなく金額だけ違っていると大抵である。商工観光課を例にとると、予算説明の内容とリンクせず、執行内容、目的、成果、課題、方向性が示されていない。これらが示されて、初めて次年度の予算に反映されると考える。また、生涯学習課を例にとると、十九年度認定の際、事業内容の検討をすることになっていたが、二十年度の報告には、評価、課題、方向性も示されていない。他市町の報告には示されていることが多いが。

商工観光課長 決算については、成果表でうたうため、事務報告と整合性は非常にあいまいな面があります。改善するところは改善します。

生涯学習課長 行事をしたという記述のみとなっています。今後は上司とも検討して突き詰めていきます。

町長 書き方によっては不足の部分もあるかもしれないが、事情に基づいて提出したものです。事業に対しては、絶えず時間をかけて議会や町民の意見を聞き、十分責任を持って詰めています。内容については十分わかるような報告にすることが、非常に大事と思っています。今後は十分検討していきます。

上田 目標管理の立場から、各課や個人の目標や方針の設定、その課題と評価は行っているのか。

副町長 目標管理については、行政改革実施大綱に基づいて行っています。また、事務事業評価システム、評価制度を取り入れ、各課毎に評価シートにまとめています。それに基づき事業を拡大、継続、縮小、廃止に分けて評価しています。これを担当者である各職員の進捗管理としています。

新型インフルエンザの対応は、明確な周知と指導を!!

上田 新型インフルエンザは予防も大事であるが、現時点では、かかった時の対応や、重症化にならない対応など、的確な対応の仕方を周知することが、必要となっている。有効とされるワクチン接種は、国で定める優先順位が決まっている。町の方針として助成の予算化を計っては

どうか。
福祉保健課長 ワクチン接種の支持はまだ通知がありません。補助については現在考えていません。近隣の市町の動向をみて対応していきます。

町長 町として今後十分検討していきます。

上田 国に対して、自治体の財政力の差で、不利益が生じない制度の報道もある。かかりつけ医発行による優先接種対象者証明書制度など、町民に分かりやすい周知が、必要と思うが。

総務課長 現在、医師会等公的機関と連携し、福井地域調整会議を立ち上げ、予防医療対策、情報収集を行っています。ルール化が明確になりしだい、周知をしていきます。

上田 現在、町ではまん延防止のチラシしか出していない。かかった時の処置や、重症化を避けるための処置の、マニュアル化したチラシ（指導）を配布して、町民の不安の軽減を図っては。

福祉保健課長 チラシの内容については、保健師と十分相談し、早急に広報指導していきます。

自主防災組織を中心として、継続的な対応を!!

上田 当町は自主防災組織百%、火災報

知機設置九十%と、県下で一位である。組織の強化と充実のため、組織の運営等のノウハウを、指導してもらいたい。

消防長 組織の育成指導はリーダー研修会を開催し、五十三地区八十六

名の参加がありました。今後は町内を十地区に分け連絡協議会を設置し、防災競技大会の開催で意識高揚や、技術を高めしていく方針です。

上田 火災報知機はメンテナンスが必要。消防団の防災組織と共同して、防災とメンテナンス項目の巡回を行ったらどうだろうか。

消防長 現在、老人世帯には光センサー付き火災報知機の設置を行う予定です。また、点検のビデオを作成し、放映も行っています。今後は点検の小冊子を作成し、全戸配布と巡回を計画しています。

※他に「子供のための特別文化、芸術体験クルーズ」「政権交代による対応と情報収集」の質問も行った。
(上田)

注 上坂議員も、一般質問を行いました。原稿提出を辞退しましたので、掲載しておりません。



火災警報器案内

視察研修

■10月15日(木) 長野県千曲市

市が管理する温浴施設 佐野川温泉 竹林の湯

市が管理する温浴施設は4カ所。設置目的は全て健康推進及び一般住民のコミュニティーを図ること。

(4施設年間利用者延数398,077人。実働日平均約396人。利用料金は施設の主目的条件により異なるが大人150円～500円)

- ◇利用者数…一日平均355人
- ◇利用料金…中学生以上250円 子供・老人120円
回数券11枚綴り2,500円(大人)
- ◇管理運営経費…38,187,686円
 - ・入浴料 20,339,880円
 - ・雑入378,740円
 - ・一般財源14,469,066円
(内、温泉施設購入費・償還金11,435,084円)
- ◇総事業費…440,164,922円
(合併特例債399,700,000円 一般財源40,464,922円)
- ◇計画実施期間…平成13年調査 平成16年～17年掘削
平成19年施設工事発注 平成19年施設完成開業
- ◇施設概要…敷地面積3,537.66㎡ 延床面積802.74㎡
- ◇施設構造…主施設鉄筋コンクリート 一部鉄骨
世代間交流室・健康相談室・運動機能訓練スペース・休憩室

◇施設運営…現体制の公営から22年度に「指定管理者制度」の導入を図る。現在、管理・運営について調査検討を行い、指定管理者の公募、選定を行っている。

※入浴客の入り込み数、当初の計画数一日200人を想定、現在355人と大幅な増となっている。しかし、4施設の中には施設の老朽化により、浴客の伸び悩む施設もあるが、利便性、施設改造により一日500人を超える施設も2カ所ある。

◎交通の利便性、環境、施設の使いやすさの広報等で、多重効果による安定した浴客の確保が、当永平寺町温浴施設計画推進の課題となると思う。



■10月16日(金) 長野県栄村

人口2,336人栄村の下駄履きヘルパーはなんと160人!!

長野県栄村は、高齢化率45%にもなる、積雪が2～3mにもなる山間に点在する村。村民総ぐるみで、人間復活の社会を追及している村である。

2000年度からの介護制度を前に、24時間、いつでもヘルパーが駆けつける態勢をどうつくるのか。住民にヘルパーをやってもらうのが一番。隣りなら下駄を履いて真夜中でも雪の中でも駆けつけられる範囲。早速ヘルパー養成講習会を開き、なんと百六十人が資格を取ってしまった。「隣の爺さま、婆さまから尊敬されるヘルパーになろう」を合言葉に「下駄履きヘルパー制度」はスタートした。

現状は、なんと栄村のお年寄り元気そのもの、寝たきりの人はたったの6人(65才以上1049人中)

■ ヘルパーさんは現在116名が登録しており、14人に1人、5戸に1人の勘定になり、村内を8地区に分けワーキングチームをつくり、各地区の「みまもり」を中心に24時間の介護を実現。

■ 民生児童委員は、村の福祉員も兼ね、村の非常勤職員として、保健師を交えた月1回の定例会を開催して情報の共有化を図り、安心ネットの充実を推進している。

■ 安否確認(安心コール)の制度や、郵便配達員との協定による安否確認も実施している。

■ 自宅での介護に対しては、家庭介護慰労金として9万円/年の補助を村独自で行っている。

というものでした。

平成20年度老人福祉施設諸経費

	総支出額 (千円)	収 入 (千円)	来 客 数 (人)	そ の 他
やすらぎの郷 (CAMU湯)	24,736	5,671	31,461	CAMU経費13,000千円
翠 荘	15,614	1,270	19,198	
永 寿 苑	21,368	0	6,367	指定管理委託費15,386千円
合 計	61,718	6,941	57,026	

12月議会定例会開会予定日

◆会期 平成21年12月7日(月)～
17日(木)…11日間
(一般質問は12月10日(木)、11日(金)
午前10時からの予定です)

※日程等については変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆お問い合わせ
議会事務局 ☎61-3950(直通)

地域振興研究会

座長 宮塚 幹雄

開催日：10月2日・19日

地域振興研究会の目的は、行政より提案または企画される事業に対し、議会がその内容を精査しながら企画に対して、目的及び財政負担、町住民に与える利益等を踏まえ論議検討を行うのが目的です。

永平寺町健康福祉(温浴)施設整備(行政からの提案内容)

●整備費概算見積 総額3億2000万円
 内訳…源泉湯設備 5706万円
 源泉処理整備 4164万円
 土地造成、設計管理、施設整備(建坪200坪) 2億2130万円
 別枠…用地費(賃貸借)830坪 年間74万円

●建設資金 合併特例債利用(20年返済例)
 内訳…特例債 2億8500万円
 一般財源負担金 3500万円
 特例債の利用により実質負担額1億3800万円

●入浴料・年間入浴者予想
 年間入浴者数 30000人
 利用料 500円前後
 営業時間 AM10:00~PM10:00(12時間)

●PFI方式にて運営
 PFIの役割
 ①町財政負担の軽減 ②リスクの軽減
 ③サービス水準の向上 ④運営の柔軟性の確保
 ⑤関係者の経験・ノウハウを活用した施設づくりの実現

●温泉排水処理方法
 永平寺町の温泉は成分が濃く一般下水道には放流できませんが、農業集落排水においては、県の環境基準もクリアできるため、上志比地区中央農業排水施設の利用が可能。

●計画実施時期(町側の考え)
 スケジュールでは、平成22年度から実施計画を始め、23年7月の完成を目指したい。

1ch 9月定例議会行政チャンネル週間番組表

放送期間 2009年11月13日(金)~11月16日(月)

時	11月13日(金)	11月14日(土)	11月15日(日)	11月16日(月)	時
9	00 町長招集あいさつ	00 文字告知放送	00 一般質問(2日目:午前) (D)	00 一般質問(1日目:午後前半) (B)	9
10	22 文字告知放送		40 文字告知放送	37 文字告知放送	10
11	00 一般質問(1日目:午前) (A)	00 本議会	00 一般質問(2日目:午後) (E)	00 一般質問(1日目:午後後半) (C)	11
12	42 文字告知放送	19 文字告知放送	44 文字告知放送	23 文字告知放送	12
13	00 一般質問(1日目:午後前半) (B)	00 町長招集あいさつ	00 本議会	00 一般質問(2日目:午前) (D)	13
14	37 文字告知放送	22 文字告知放送	19 文字告知放送	40 文字告知放送	14
15	00 一般質問(1日目:午後後半) (C)	00 一般質問(1日目:午前) (A)		00 一般質問(2日目:午後) (E)	15
16	23 文字告知放送	42 文字告知放送		44 文字告知放送	16
17	00 一般質問(2日目:午前) (D)	00 一般質問(1日目:午後前半) (B)	00 町長招集あいさつ	00 本議会	17
18	40 文字告知放送	37 文字告知放送	22 文字告知放送	19 文字告知放送	18
19	00 一般質問(2日目:午後) (E)	00 一般質問(1日目:午後後半) (C)	00 一般質問(1日目:午前) (A)		19
20	44 文字告知放送	23 文字告知放送	42 文字告知放送		20
21	00 本議会	00 一般質問(2日目:午前) (D)	00 一般質問(1日目:午後前半) (B)	00 町長招集あいさつ	21
22	19 文字告知放送	40 文字告知放送	37 文字告知放送	22 文字告知放送	22
23		00 一般質問(2日目:午後) (E)	00 一般質問(1日目:午後後半) (C)	00 一般質問(1日目:午前) (A)	23
24		44 文字告知放送	23 文字告知放送	42 文字告知放送	24

町長招集あいさつ 松本 文雄 町長

1日目

- 一般質問(午前) (A)
 小畑 伝 議員 南保 秀樹 議員 松倉 寛治 議員
 竹澤 一敏 議員 酒井 要 議員 上坂 久則 議員
- 一般質問(午後前半) (B)
 上坂 久則 議員 伊藤 博夫 議員 長谷川茂雄 議員
 原田 武紀 議員
- 一般質問(午後後半) (C)
 小玉 益雄 議員 松川 正樹 議員

2日目

- 一般質問(午前) (D)
 金元 直栄 議員 河合 永充 議員
- 一般質問(午後前半) (E)
 滝波登喜男 議員 上田 誠 議員
- 本会議(午前)

決算特別委員会現地視察報告

委員長 長谷川茂雄

平成20年度決算特別委員会現地視察が10月6日行われ、7課13ヵ所の現地視察を実施しました。
視察箇所は、昨年度の公共工事の中から、金額の大小にかかわらず現場を抜粋し、委員（議長、監査委員を除く）18名で検証した。

後日、各課別に決算特別委員会を開き、事業内容を6日間にわたり精査討議した。指摘事項を行政に提出、回答を得て12月定例議会において認定し、決算特別委員会として委員長名で公表致します。

学校教育課

【松岡小学校パソコン教室改装工事】

リースが切れるのに伴い、授業中1人1台にパソコン更新の配置がなされた。また、OAフロア化、電気設備、ネットワーク配線も改修され、最新の環境に整備された。

【志比小学校普通教棟耐震補強工事】

県が独自に定めるEランク(震度6クラスで倒壊の恐れ)解消の耐震補強工事で、関東大震災クラスの地震でも倒壊しないまでに整備された。

上水道課

【左岸系上水道施設機械・電機計装設備更新工事】 —松岡木ノ下地係—

上水道の安全、安心、安定した供給のため、老朽化している低区送水ポンプ、電気盤、電磁流量計の更新工事が完成しました。これにより、管理センターで集中管理できるようになった。

【左岸低区調整池耐震補強工事】 —松岡木ノ下2地係(同センター施設内)—

隣接している調整池は国の指導レベル2(100年に一度)の地震に対応できる工事が行われた。



下水道課

【永平寺地区下水道処理施設修繕】—東古市地係—

法定点検にかかる、各種機器の現地視察を実施。今回の機器修繕は往年劣化のための、延命を図る計画的な修繕の一環である。

【上志比地区農業集落排水施設修繕】—牧福島外—

施設内スカムポンプNo1、2の機器摩耗に対処するポンプ、および部品交換修理であった。



子育て支援課

【上志比幼稚園プール建設工事】

自園にはプールがなく、組み立て式のプールを園庭に設置するか、中学校プールに隣接する幼児用プールまで出かけていて、これを解消する工事である。工事の変更額が出たのは、プール設置場所の地中に下水道管の敷設があったためとの説明があった。



建設課

【道路改良工事(その1、2)】—松岡湯谷地係—

将来福井市へアクセスするバイパスになり、その一部を永平寺町が、残りを県が施工する(町施工総延長860m)工事である。昨年(2008)の工事で一部(280m)の整備を完了し供用を開始している。

【道路改良工事】—光明寺地係—

国道416号線とバイパス機能を持つ道路の光明寺集落内を通るアクセス道の工事で、完成の折には交通渋滞の緩和や生活道路の有効活用につながることを期待される。

上志比支所 地域整備課

【側溝改良工事】—大月地係—

町道238号線であり、施工前はオープンな側溝で道路幅は4.0mだったが、今回フタ付きの側溝に改良し4.5mに広がり、区民の方々の利便性が高まった。

永平寺支所 地域整備課

【的川2号橋架替工事】—上浄法寺地係—

橋梁の橋脚が老朽化し鉄筋が露出した現状だったので、住民の安全、利便性を考え、架替が実施されたものである。

編集後記

政権交代から二月、毎日のように新聞、テレビがまぶすしい。政権が変わるといふことは、こういうことなのか。まさに劇的に変化している。今の所、主だった政策や各大臣の支持率も高く、国民も好意的だ。これから始まる国会論戦も楽しみだ。劇的な変化がコトコト変わると揶揄されないことを願うが、国民も変わらなければと思う。「日本はなぜ」ここまで壊れたか」という本を読んだことがあるが、国も地域も政治だけに頼っていてもいいわけがない。住民がそれぞれの立場で考えぬき真面目に行動しないとさらに日本は壊れていくことになる。

日本や地域を修復し立て直すには、「劇的な変化」を劇場で観ているだけではつまらない。自らが舞台上に上がるうとしなければ。きつと舞台には仲間もいるだろうし、新しい扉も待っている。扉を開けることの苦勞もあるが、みんな扉の向こうへ行く楽しみは間違いない。

(松川 記)

議会だより編集委員

委員長 小松河川
副委員長 金原松河

- 〃 〃 〃 〃 〃 〃
- 宮上坂 滝 齋 金 原 松 河 小
- 塚 田 本 波 藤 元 田 川 合 畑
- 幹 伊 登 則 直 武 正 永
- 三 喜
- 雄 誠 栄 男 男 栄 紀 樹 充 伝